

					(別紙3)
	<div>公表事業所における自己評価総括表</div>				
○事業所名		SMiDデイサービスSora			
○保護者評価実施期間		R7年 3月 10日		～	R7年 3月 18日
○保護者評価有効回答数		(対象者数)	17	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間		R7年3 月 10日		～	R7年 3月 18日
○従業者評価有効回答数		(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日		R7年 3月 26日			
○ 分析結果					
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等
1	固定化せず、常に状況に応じ、マンツーマン体制で子どもたちの特性に合わせたよりよい支援を目指して臨機応変に対応している。		偏った支援にならないよう担当は決めず、多くの目で見守りながら、その日その日ひとりひとりの状況状態に合わせた療育を行っています。		ひとりひとりの強みを知り、強みを伸ばす療育を目指す 送迎などでマンツーマン体制が難しいときがあるため 職員の増員
2	意思決定支援。個別性。		五感を通してカラダとつながり、今こころを体感させる。 言葉にならないこどもたちの思いや願い喜びを読み取り、ひとりひとりのこころに寄り添った支援をしています。		ひとりの思いよがりや決めつけにならないように職員同士でのすり合わせを行い、視点を増やす。
3	共生社会をめざしています。		障害者と健常者、支援者と利用者という枠組みにとらわれずそれぞれの特性を認め合い、共に喜び、共に感じ、言葉を越えたコミュニケーションを楽しむ、そんな療育を目指しています。		職員同士の互いの違いを認め合う
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	固定化されていない。計画性がない。		特性に合わせた支援		臨機応変という、当事業所の方針を理解していただけるよう、より活動の様子を発信していく
2	一日の振り返りが行われていない。		子育て中の職員や、介護中の職員など、家庭の事情などで残業は難しく、送迎後のミーティングは行っていない。その代わりとして申し送りノートなどを利用し、職員間でその日その日の出来事を周知するようにしている		申し送りノートだけでは不十分なので、送迎後の午前中に前日の振り返りミーティングを行う
3	狭い		ご利用児の特性によって、（医療的ケアに必要な機器など）狭く感じるときがある		整理整頓をこころがける 折りたためるバギーは折りたたむ。 配置を変える